

大城萩が男子単頂点

ホープス卓球県予選 女子は野原

卓球の第27回全国ホープス南日本ブロック大会兼第18回全九州選手権大会(小学生の部)県予選が19日、県総合運動公園体育館で行われた。ホープス(小学6年以下)の男子シングルスは大城萩一(金武卓球道場)、女子シングルスは野原梨沙(同)がそれぞれ制した。団体は男子で金武卓

球道場Aが優勝、女子はハッピー卓球クラブが頂点に立った。団体の男女上位4チーム、個人のホープス8位以上、カブ(小学4年生以下)の6位以上、ハンビ(小学2年生以下)の4位以上は熊本県で開催される全九州小学生大会(8月30日~9月1日)に推薦される。(記録は後日掲載)



ホープス男子シングルス決勝 力強いスマッシュで優勝をつかんだ大城萩一(金武卓球道場) 19日、県総合運動公園体育館

粘る相手に 要所で強打

大城萩一

○：大城萩一(金武卓球道場)はしぶとく食らいつく相手に力強いスマッシュで引き離した。ホープス男子シングルス決勝で顔を合わせたのは同じ道場に通過大城和幸。「普段はほとんどストレート勝ちしている」というが、相手の粘りの前に苦戦を強いられた。

1セットを先取して迎えた第2セット。「相手のスマッシュを取れなかった」と立ち上がりからリードを許し、セットを落とした。それでも「(スマッシュを)きれいに返せば大丈夫」と前を向き、第3セット以降は接戦にもつれ込みながらも要所でスマッシュ

を決めた。

「同じチームの選手に勝ててうれしい」と達成感を感じながらも「九州では今日の試合の反省を生かしたい」と次を見据えた。気持ち切り替え カットで応戦

野原

○：野原梨沙(金武卓球道場)が巧みなカットで巻き返し、ホープス女子シングルスを制した。「練習よりも気合が入っていて、(カットが)うまくできた」と笑顔で振り返る。もともとはスマッシュを

得意とするが、この日は逆に打ち込まれた。「球にうまく回転がかからず、上がった球を(スマッシュで)打たれた」と説明。第1セットは追い掛ける展開となったが、金武健監督から「ゆっくり(相手コート)に入れて行こう」とアドバイスを受けて気持ちを切り替えた。相手スマッシュにカットで応戦、徐々に球の回転も良くなってペースを握った。

「もっとスマッシュを打ちたかったけど、今日はカットがうまくいった」。勝利を手にし、満足そうにほ笑んだ。



ホープス女子シングルス決勝を巧みなカットで制した野原梨沙(金武卓球道場) 19日、県総合運動公園体育館